

# 政 策 3

～男女共同参画の地域社会をつくります～

## 後期基本計画に定める指標値「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

男女がお互いに相手の人権を大切に思い、ともに責任を分かち合い、個性や能力をフルに発揮できるまちをめざします。それは、男女が対等なパートナーとして、いろいろな分野に参画できるまちです。

| 指 標                 |               | 21年度  | 22年度  | 25年度  | 27年度<br>現状値 | 28年度<br>(注1) | 32年度<br>(注2) |
|---------------------|---------------|-------|-------|-------|-------------|--------------|--------------|
| 固定的性別役割分担を支持しない人の割合 | めざそう値<br>(目標) | —     | 45.0% | 45%   | —           | 47%          | 50%          |
|                     | 実績値           | 43.2% | 47.2% | 48.0% | 48.6%       |              |              |
| 女性の就業割合             | めざそう値<br>(目標) | —     | —     | 55%   | —           | 63%          | 60%<br>(※)   |
|                     | 実績値           | 50.3% | 50.3% | 61.9% | 64.4%       | —            | —            |

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

# 政策3

## 男女共同参画の地域社会をつくります

### 男女共同参画のまちづくりを実現します

#### 1. 現況と課題

男女平等の実現に向けて様々な取り組みが進められ、法律・制度上においては男女平等がほぼ達成されつつあるものの、家庭生活や就労環境はいまだに男性が優遇されていると感じている人が多い現状にあります。

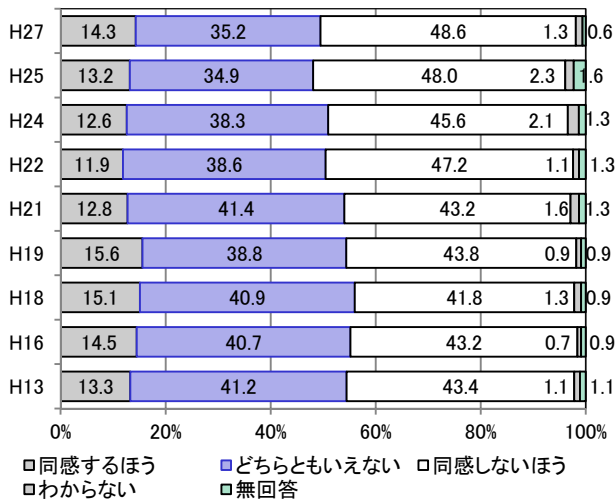
市民意識調査によれば、「固定的性別役割分担を支持しない人の割合」は、平成13年度43.4%から平成25年度48.0%と5%ほど増えたものの、平成27年度は48.6%とほとんど変化していません。

男女が地域、職場、家庭で共に参画し、いきいきと充実した人生を送れる社会となるよう、固定的な男女の役割分担にとらわれずに、家庭生活と就労の両立を、個々人が望むバランスで実現できるようにしていく必要があります。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

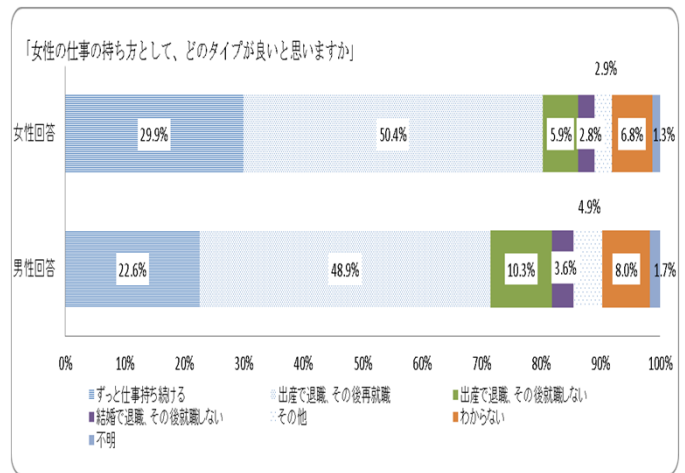
- ・女性が出産、育児後に再就職するだけでなく、子育てをしながら就労を継続すること、またボランティア活動などに参加しやすくなることが求められています（ニーズの増）

#### ● 固定的性別役割分担に対する考え方



出典 市民意識調査（平成27年度）

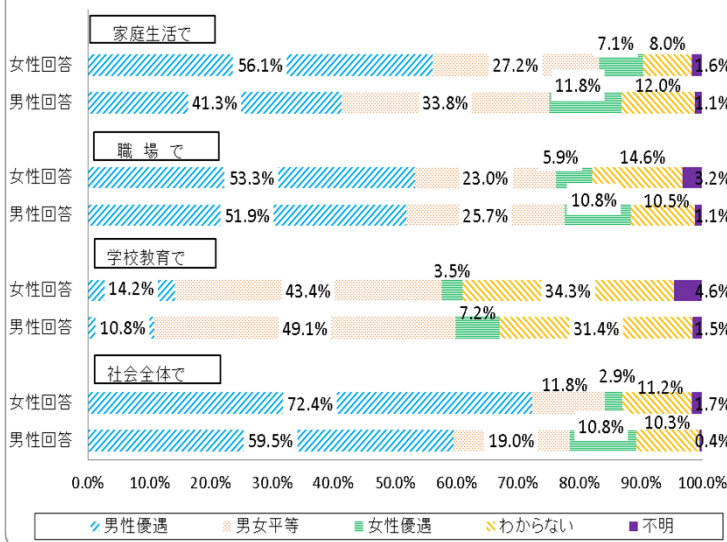
#### ● 女性の理想と考える就労パターン



出典 『平成23年度男女共同参画社会に関する市民意識調査』

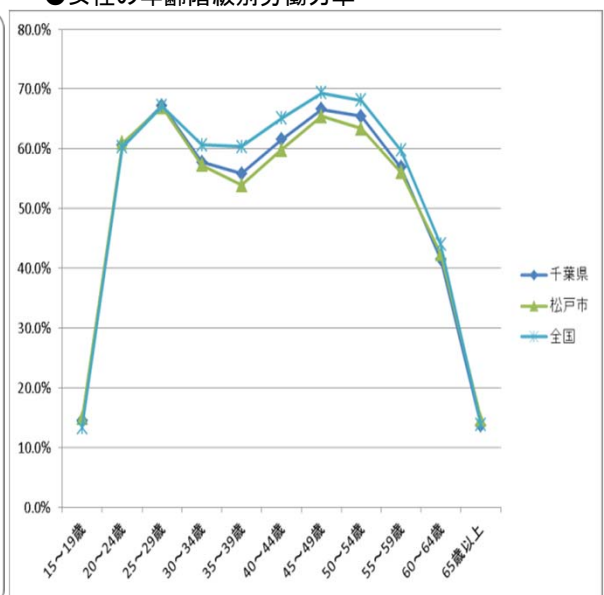
#### ● 男女平等感

【評価データ】男女平等感「次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか」



出典 『平成23年度男女共同参画社会に関する市民意識調査』

#### ● 女性の年齢階級別労働力率



出典 「平成22年度国勢調査」をもとに作成

## 2. 施策の展開方向

平成10年度にスタートした「松戸市男女共同参画プラン」に基づき、市民と行政とが一体となつて、男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。男女が互いの人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きることを大切にされるまちづくりのため、講座・イベントの実施や情報の提供、個別の相談事業を行っていきます。

出産・結婚等で離職した女性の再就職を支援する講座や相談などの支援を行い、女性の活躍を推進します。また、子どもの個性を育む場を提供します。男女共同参画を推進するボランティア団体と、市との協働を進め、イベントの開催などを定期的実施していきます。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を、男女共同参画の視点からも推進し、個々人が自らの望むバランスで仕事と生活をしていけるような社会に向けて、市民に働きかけていきます。

なお、行政の施策を総合的に展開するため、庁内の関連部署における施策の進行状況を定期的に把握していきます。

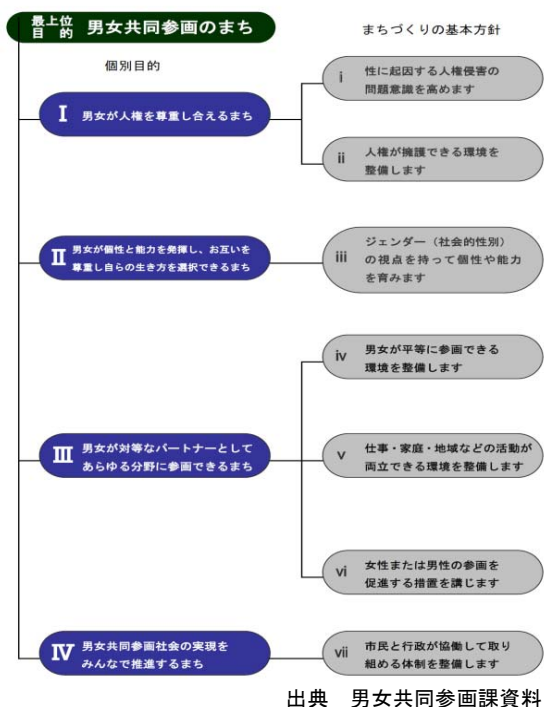
## 3. 施策を推進していく上での課題

主体的に社会参画ができる女性の育成と、出産・結婚等で離職した女性の再就職を支援する施策を研究していく必要があります。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

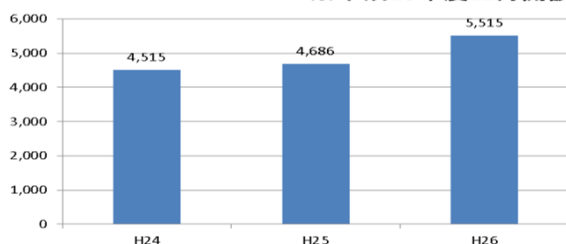
- 女性センターは男女共同参画の推進拠点として、就労支援等の各種情報の提供や、相談窓口等が充実しています（強み）

#### ●松戸市男女共同参画プラン（めざまちの姿）

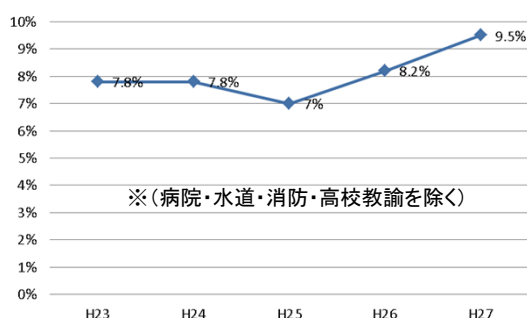


#### ●女性センター「個育てサロン」利用状況

※平成16年度11月開設



#### ●松戸市職員の課長相当職以上の女性の割合



#### ●松戸市女性センター ゆうまつど



#### ●男女共同参画啓発事業(H26年度実績)

| 事業名（講座タイトル）                      | 件数及び参加者数等   | 対象者（女・男の別） |
|----------------------------------|-------------|------------|
| 男女共同参画週間記念講演会                    | 151名        | 女性・男性      |
| エンバワメントセッケー 働きたい女性の講座 全10回       | 28名（延べ235名） | 女性         |
| エンバワメントセッケー パートタイム労働ガイダンス        | 20名         | 女性         |
| エンバワメントセッケー イクメン講座 全3回           | 21組（延べ57名）  | 男性         |
| エンバワメントセッケー しごとサポートボランティア講座 全11回 | 21名（延べ160名） | 女性         |
| ゆうまつどフェスタ                        | 1558名       | 女性・男性      |
| 女性のための護身術講座                      | 29名         | 女性         |
| 人権啓発受託事業                         | 136名        | 女性・男性      |

出典 男女共同参画課資料

